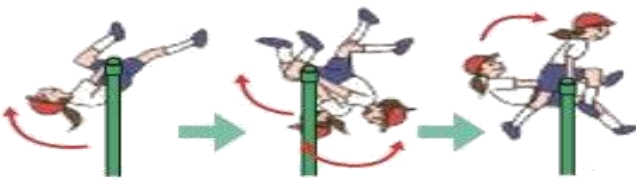
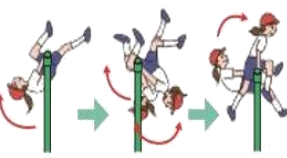


時	1	2	3	4	5	6	7	8		
目標	【知識及び技能】鉄棒運動では、その行い方を知るとともに、支持系の基本的な技をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】鉄棒を使った簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】鉄棒を使った運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりをも守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気をつけたりすることができるようにする。									
コア技術	① 掛けていない方の脚をピンと伸ばし、つま先に力を入れて下に向かって振っている。 ② 起き上がるときに手首を返している。									
めあて	学習の進め方を知り、学習のめあてを持とう。	膝掛け振り上がりのポイントを知ろう。	鉄棒の高さまで、体を振ろう。	鉄棒の高さを越えられるように、体を振ろう。	補助付き膝掛け振り上がりをしてしよう。	膝掛け振り上がりを練習しよう。	より上手になれるように、アドバイスをしよう。	学習の成果を発表しよう。		
指導内容	1. 準備運動（加茂小体操） 2. 膝掛け振り上がりのポイントの発見 （1）手本や動画を見ながらポイントを考える。 ① 掛けていない方の脚をピンと伸ばしつま先に力を入れて上体と連動させて真下に向かって振る。 ② 上体も脚を下に下ろすと同時に上の方に向かって振る。 ③ 「1・2・3」のタイミングで振りを徐々に大きくしていき、3のタイミングで手を返しながら上体を起こす。  かかわりあい <u>声かけ</u> 「い～ち、に～の、さん！」 スイングに合わせて口伴奏をする。 3. 学習のまとめ 4. 振り返り		1. 準備運動（加茂小体操） 2. 膝掛け振りの練習 ①掛けていない方の脚をピンと伸ばしつま先に力を入れて上体と連動させて真下に向かって振る。  ② 上体も脚を下に下ろすと同時に上の方に向かって振る。 ③ 「1・2・3」のタイミングで振りを徐々に大きくしていく。 かかわりあい <u>補助</u> ・技を行う児童と反対側に立ち、背中を支え、伸ばしている脚の膝上とスイングに合わせて押す。 <u>お手伝い</u> ・技を行う児童の後方に立ち、赤白帽を鉄棒の高さに合わせて目安を作る。 <u>声かけ</u> 「い～ち、に～の、さん！」 スイングに合わせて口伴奏をする。 3. 学習のまとめ 4. 振り返り		1. 準備運動（加茂小体操） 2. 膝掛け振り上がりの練習をする （1）補助膝掛け振り上がり補助の仕方を確認する。 （2）膝掛け振り上がり ① 掛けていない方の脚をピンと伸ばしつま先に力を入れて上体と連動させて真下に向かって振る。 ② 上体も脚を下に下ろすと同時に上の方に向かって振る。 ③ 「1・2・3」のタイミングで振りを徐々に大きくしていき、3のタイミングで手を返しながら上体を起こす。 かかわりあい <u>補助</u> ・技を行う児童と反対側に立ち、背中を支え、伸ばしている脚の膝上とスイングに合わせて押す。 <u>お手伝い</u> ・技を行う児童の後方に立ち、赤白帽を鉄棒の高さに合わせて目安を作る。 <u>声かけ</u> 「い～ち、に～の、さん！」 スイングに合わせて口伴奏をする。 3. 学習のまとめ 4. 振り返り		1. 準備運動（加茂小体操） 2. 膝掛け振りの練習 ① 掛けていない方の脚をピンと伸ばしつま先に力を入れて上体と連動させて真下に向かって振る。 ② 上体も脚を下に下ろすと同時に上の方に向かって振る。 ③ 「1・2・3」のタイミングで振りを徐々に大きくしていく。 3. 膝掛け振り上がりの練習 ※ 班の友だちの課題に応じて、補助や声掛けの仕方を選び課題を解決できるようにする。 4. 学習の振り返り 5. 振り返り		1. 準備運動（加茂小体操） 2. 本時のめあての提示 発表の方法の確認 3. 課題に応じた練習  4. 発表会 VTRの確認 技の出来映えについて助言し合う。 5. 学習のまとめ 6. 振り返り	
	指導上の留意点	「膝のサポーター」や「緩衝材」、「鉄棒の下マット」など児童の全面の確保への配慮とともに「痛み」や「怖さ」を和らげるものを必ず準備し楽しみながら、積極的に取り組める環境を設定する。 		児童は目安を赤白帽で作ることで、頭を意識するようになる。それと合わせて伸ばしている脚が、鉄棒の真下を越えられるように振るようになると上体も上がることを意識させる。 		膝掛け振り上がりが出来た児童は、振り出し膝掛け上がりや後方膝掛け回転にチャレンジさせる。		膝掛け振り上がりが出来た児童は、振り出し膝掛け上がりや後方膝掛け回転にチャレンジさせる。		
知			② 観察・ICT			① 観察・カード		② 観察		
思		① 観察	① 観察			① 観察	② 観察	② 観察		
態	④ 観察	③ 観察		① 観察・カード	② 観察・カード					

単元の評価規準

【膝掛け振り上がり（鉄棒運動）】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①膝掛け振り上がりの行い方について, 言ったり書いたりしている。 ②片膝を鉄棒にかけ, 腕を曲げて体を鉄棒に引きつけながら, 掛けていない足を大きく振動させ, 振動に合わせて前方へ回転し手首を返しながら上がるることができる。	① 上手くできたところやできなかったところを, 学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり, シールを貼ったりして, 自己の能力に適した課題を見付けている。 ② 友達のよい動きを見付けたり, 自分で考えたりしたことを友達に伝えたり書いたりしている。	① 膝掛け振り上がりに進んで取り組もうとしている。 ② 順番やきまりを守り誰とでも仲よく鉄棒運動をしようとしている。 ③ 場の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ④ 場の安全に気を付けている。

【単元の評価規準を基にした「十分満足できる姿」】

（１）知識・技能

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 膝掛け振り上がりの行い方について, 言ったり書いたりしている。	・ 膝掛け振り上がりの留意点を友ダイヤ教師に詳しく伝えたり, カードに書いたりできる。
② 片膝を鉄棒にかけ, 腕を曲げて体を鉄棒に引きつけながら, 掛けていない足を大きく振動させ, 振動に合わせて前方へ回転し手首を返しながら上がるることができる。	・ 滑らかな膝掛け振り上がりを安定して行うことができる。

（２）思考・判断・表現

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 上手くできたところやできなかったところを, 学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり, シールを貼ったりして, 自己の能力に適した課題を見付けている。	・ 上手くできたところやできなかったところを, 学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり, シールを貼ったりして, よりよくする行い方を見付けている。
② 友達のよい動きを見付けたり, 自分で考えたりしたことを友達に伝えたり書いたりしている。	・ 友達のよい動きの特徴を, 擬態語や身振りなど多様な表現を用いて具体的に友達に伝えたり, カードに書いたりしている。

（３）主体的に学習に取り組む態度

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 膝掛け振り上がりに進んで取り組もうとしている。	・ 膝掛け振り上がりから膝掛け上がりへの行い方を試している。
② 順番やきまりを守り誰とでも仲よく鉄棒運動をしようとしている。	・ 自分が楽しむだけでなく, グループの友達を励ましたり, 応援したりしている。
③ 場の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。	・ 場の準備や片付けを率先して行っている。
④ 場の安全に気を付けている	・ 自分のことだけでなく, 周囲の安全にも気を配っている。

※ 学習指導要領解説の技の例示とは異なった学年で授業を計画しています。その理由は以下の２点です。

- ① 器械運動の技を系統的・段階的に習得するため。
- ② 器械運動の授業を学年間で偏りなく行うため。